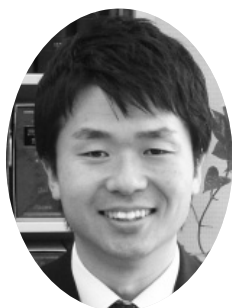


平成28年熊本地震からの復旧・復興レポート

～熊本の「美味しいもの」と共に～



弁護士知財ネット・農水法務支援チーム
弁護士 榎 崇文（熊本県弁護士会）

第1 平成28年熊本地震

1 「前震」と「本震」

平成28年4月、私が住む熊本県は、2度の最大震度7の地震に見舞われました。

4月14日午後9時26分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生し、熊本県益城町で最大震度7を記録、熊本市内でも震度6弱を記録した地域がありました。私は外出先で地震に遭い、すぐに家族へ連絡しようとしたものの、電話回線が混雑してつながらず、急いで帰宅して家族の顔を見て安堵したことを鮮明に記憶しています。

気象庁の会見では、今後しばらくは「余震」が発生する可能性が高いため注意するよう呼びかけがされていたところ、4月16日午前1時25分には、同じく熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、熊本県益城町は再び震度7を記録、熊本県西原村でも震度7を記録しました。まさか「余震」で前回よりも大きな規模の地震が発生するとは思ってもみませんでしたので、非常に驚きました。後に4月14日の地震が「前震」、4月16日の地震が「本震」と発表され、「前震」なる概念があることを初めて知りました。

その後も余震は続き、震度1以上を観測する地震が4596回発生しました（平成31年4月10日現在。内閣府発表）。



【写真1-1】本震直後の益城町
（熊本地震デジタルアーカイブ、提供者：益城町）



【写真1-2】本震から1か月後の益城町
（熊本地震デジタルアーカイブ、提供者：益城町）